



■魚の駅（明石市）

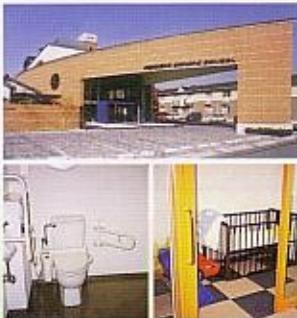


【施設】

■明石、魚の棲商店街の中の空き店舗改修による観光市民トイレで、障害者用トイレはゆったりとしたスペースを確保し左右どちらからでもアプローチできるよう両側可動手すりとし、一般用のトイレについても出入り口の段差を勾配の緩いスロープで解消したり女性用にはおむつ交換シートを設置している。

■施設前面には買い物の合間に利用できる休憩用スペースや物産ＰＲなどが行える地域交流スペースを設けており、商店街の一等地という立地条件もあいまって、まちを訪れる方の利便性を向上させ、高齢者、障害者等の行動範囲の拡大、地域交流の促進及び商店街の活性化を促進している。

■網干自動車教習所（姫路市）



【施設】

■ハンディキャップをもつ者への配慮と地域開放という視点をもった新しいタイプの自動車教習所で、ゆったりとしたホールや廊下、福祉対応のエレベーター、使い勝手の良い障害者用トイレの設置や段差見やすい案内表示、動線の簡略化などにより、だれもが快適に利用できる空間づくりを実現している。

■乳幼児連れの教習生に配慮して保育資格を持つ職員を配置した託児室をはじめ、高齢者適性検査室、インターネットコーナー、イベントホール等を設けており、施設のバリアフリー化を有効に活用した高齢者・障害者教習やライブイベントを実施するなど、あらゆる人のコミュニケーションや情報発信の場にもなっている。

■豊岡市立コウノトリ文化館

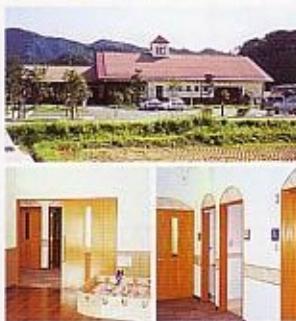


コウノピア（豊岡市）【施設】

■施設の外のコウノトリや自然を高齢者や障害者、子どもたちが自由に体験できるようすべての出入り口の段差を解消とともに、屋根付きの障害者用駐車区画を設置したり、乗り換え用車いすを常備した2階へも階段昇降機により移動できるよう配慮している。

■玄間に音声誘導装置を設置しその装置に反応する白杖用磁気テープを障害者団体に配布したり、コウノトリのはく製展示の一部分を直接触れられるようにするなどの視覚障害者への配慮や、音と光による非常通報装置の設置など、あらゆる人に施設を活用してもらえる整備が施されている。

■柏原町子育てセンター ゆめわあく柏原（柏原町）【施設】



■核家族化が進む中で、親が子育てについて学んだり、地域の人々が親子を見守り、育て、支援するための施設で、1H調理台を備えたパーティールームや床暖房設備を備えた安全な空間で盛んに活動が繰り広げられている。

■男女それぞれのトイレに幼児用便器と高さの低い洗面台を設置とともに、男女どちらでも使える障害者用トイレ及びおむつ交換所を別に設けている。また、施設内の段差をなくすとともに、各部屋の出入り口の有効幅員を1m確保したり、園庭にもスロープで下りられるようにするなど、乳幼児連れの方のみでなく車いす使用者への配慮も行き届いた施設である。

■六甲アイランドCITY イーストコート11番街（神戸市東灘区）【住宅】



■併設した老人保健施設、訪問看護ステーションとの連携によりシニア世代が安心して暮らせる共同住宅で、利用権型とは違う分譲という権利形態を生かし、相続や譲渡による世代バランスが取れた島内環境の構築を提案している。

■各住戸は玄間にベンチや手すりを設置するなどのバリアフリー設計をはじめ、生活リズムセンターによる見守りサービスなど、きめ細やかな配慮と新しい工夫を随所に施している。ゆったりとした共用部分の廊下は風雨や寒さを避けられる屋内とし、工芸室、茶室、A V室等の多彩な共用施設やシニアカー置場などを設け、高齢者の部屋への閉じこもりを防いだり居住者の交流を促進している。

■きらくえん倶楽部大樹町（芦屋市）【住宅】



■便利で暮らしやすい芦屋の中心市街地に立地する、元気な高齢者が共同で安心して暮らせるコレクティフハウスで、近隣する特別養護老人ホームによる安心サービスの提供と入居者の自立心を發揮できる居住環境を有効に活用した住まいである。

■1階には共同の居間、食堂を設け、ユニバーサルデザインを取り入れた明るく快適な空間で居住者や近隣住民の活発な交流が行われている。各住戸は安全な1H式簡易システムキッチンやシャワー付きの広めのトイレ、緊急通報装置などを備えるとともに、プライバシーの確保と共に廊下への開放性の両方を備えた間取りとなっており、入居者同士でお互いに助け合い見守り合うシステムが構築されている。